

情報連絡員報告総括表(平成28年12月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		4			4		1	3			4			3	1		3	1		4			4			2	2						
	織 維 工 業		2	1		3			3			3			3			3			3			3			2	1						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		2			2			2			1	1		2			1	1		1	1		1	1						
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1	1	1		3			3			3			3			3			2	1		3			3							
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1		1				1		1				1			1							
	一 般 機 器	1	1	1	1	1	1		2	1		2	1	1		2		3			2	1	1	1	1		3							
	電 気 機 器	1				1				1		1		1			1			1				1			1							
	輸 送 機 器		1			1			1			1				1			1		1			1			1							
そ の 他																																		
小 計		4	10	6	1	18	1	1	17	2		18	2	3	11	6	1	17	2	2	14	4	1	17	2		15	5						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1		1	1		2			1	1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	2	2	2		5	1	3	3			5	1		2	4		2	4								5	1	1	3	2			
	商 店 街		1			1			1			1			1			1									1			1				
	サ ー ビ ス 業		4	1	X				5			5			4	1		4	1							1	4			5				
	建 設 業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1					3	1					4			4	
	運 輸 業			1					1			1			1				1					1						1				1
	そ の 他		1							1		1			1				1					1						1			1	
小 計		2	11	7					7	2	3	14	3		18	2		11	9		13	7				1	18	1	1	15	4			
合 計		6	21	13				1	25	3	4	31	5		36	4	3	22	15	1	30	9	2	14	4	2	35	3	1	30	9			

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成27年12月～平成28年12月)

三重県中小企業団体中央会

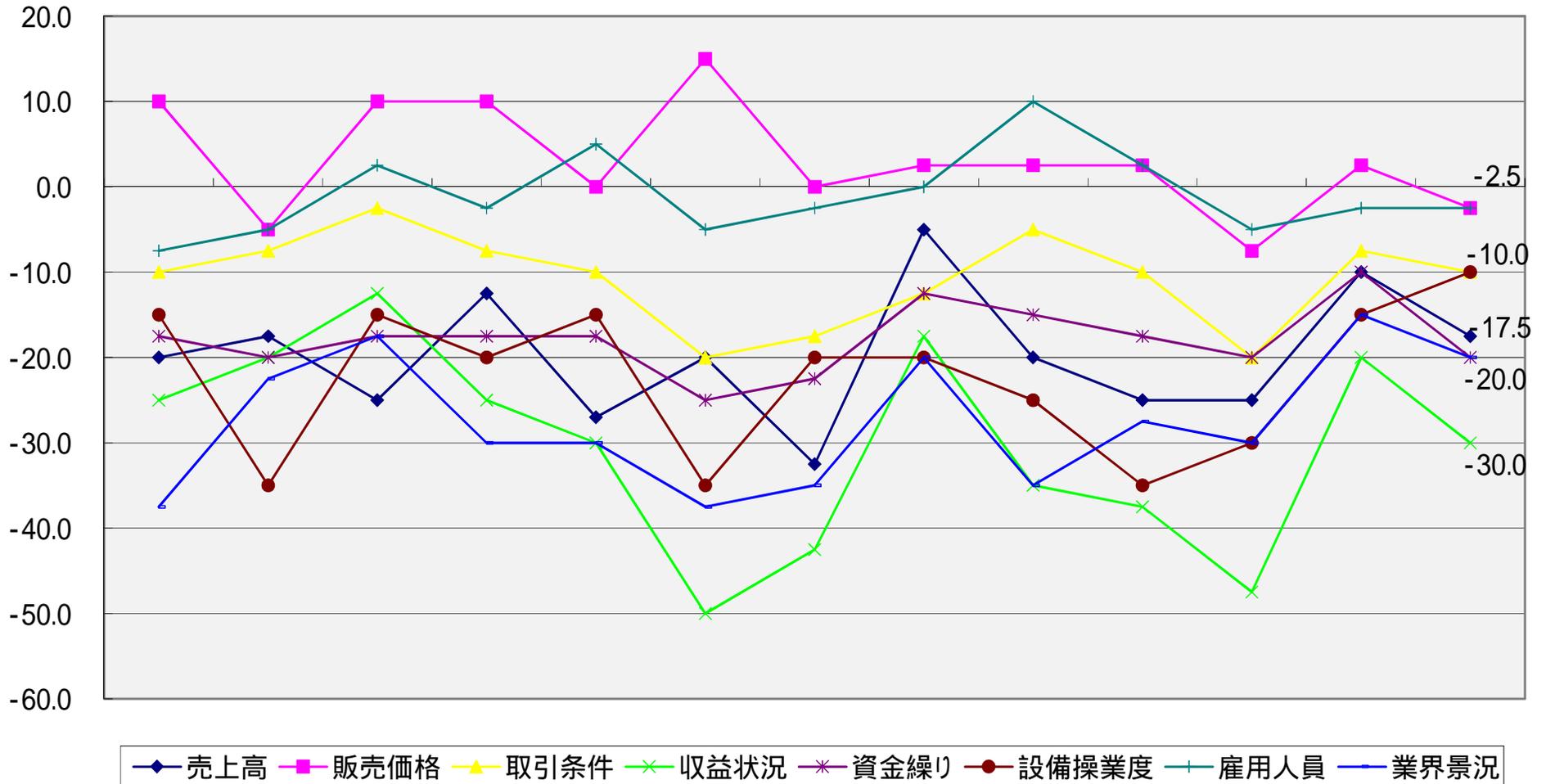
連絡員総数 40名

	27/12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	増減
売上高	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.0	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-7.5
販売価格	10.0	-5.0	10.0	10.0	0.0	15.0	0.0	2.5	2.5	2.5	-7.5	2.5	-2.5	-5.0
取引条件	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-2.5
収益状況	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-10.0
資金繰り	-17.5	-20.0	-17.5	-17.5	-17.5	-25.0	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-20.0	-10.0	-20.0	-10.0
設備操業度	-15.0	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-35.0	-20.0	-20.0	-25.0	-35.0	-30.0	-15.0	-10.0	5.0
雇用人員	-7.5	-5.0	2.5	-2.5	5.0	-5.0	-2.5	0.0	10.0	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移

27/12月 28/1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成28年12月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	原料野菜の確保も、ほぼ前年同期の状態となってきた。平成28年度の業況の推移は、全般的に量、金額ともほぼ前年同様となっている。このうち、酢漬関係がやや好調であるが、浅漬類は、野菜高の影響で減少した。又、これまで、堅調であったキムチ類は、頭打ち感も出てきている。一方、和食ブーム等を反映して、味噌漬が健闘している。
		醤油味噌	特に変化はないが、円安傾向で食油の値上げ(2月-)の発表があり、他にも仕入れ原価が上がるのが心配である。
		豆腐	非組合員であるが員弁町で一軒廃業した。
		製麺	12月は、昨年と比べて、あまり変動が少ない様に思われる。ただ、個人のラーメン店は、チェーン店や他の飲食店に押されており、麺はあまり売れていないようである。伊勢うどんは、伊勢を中心に動きは良くなってきている。今後の伊勢うどんの地域ブランド力を高めていけるように努力していく。
	木材・木製品	木材	バイオマス発電所の本格稼働により、C材(チップ等)、D材(バイオマス燃料向け)が不足している。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	12月後半から、例年ほどの仕事量となり、操業度も高まったが、前半の不調が影響し、単月では、前年対比でマイナスとなる。また、一年を通じ、売上、利益ともに苦しい年度となった。
		古紙	1月13日(金)にある新年互礼会でも確認するが、ここ数年の取扱重量は、対前年対比マイナス傾向であった組合員も前年並になったところもあり、前年比:段ボール・約98±4%位、新聞、チラシ・約90±8%位、雑誌、雑紙、その他・合わせて約95±7%位の模様。段ボール箱は、軽量化しつつも流通量が増えている様で暖冬でも前年並みに発生している模様。新聞は発行部数と本誌ページと広告とチラシ等の減少で集荷に影響している模様。雑誌類の集荷は、大幅に減少しつつも、雑紙等で穴埋めされて、前年並みのところもある見込みである。円安により、輸出価格の手取りが良いためか、古紙の持ち取り行為が活発になっている。5年以上にわたり、指導や対策を講じても、市の条例にて市の職員が取締をしても、その行為をやめる気がない。また、取り締まると危険な状態になりやすく、最近では車を停止することなく交通規則等を無視して逃げてしまう。そのため、違反行為の証明書を手渡すことができず、違反摘発に至らない。現在は、広報車で注意している。不正を是正する為には、更なる協力者を求めている。
	印刷	印刷	昨年同様、年末年始のチラシ印刷以外の需要は伸びない。年度末に向けての入札も未だ厳しい業況が続いている。
	窯業・土石製品	伊賀焼	入館者数は、両館とも昨年を少し上回った。また、売上は、伊賀焼伝統産業会館は、昨年並み、伊賀・信楽古陶館では、作家作品(値が高い)をまとめ買いした客もあって大きく上回った。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界では、扱った製品により生産量は異なるものの11月と比べやや増加したと思われる。自動車関連は横這い、電器関連は若干の上昇、その他製品は増加したものの、減少したものとに分かれた。半導体関連は、IoTの更なる普及の関係で11月に比べ、増産は続いている。又、今後に関しても、更に増産傾向は続くものという観測が強い。
一般機器	四日市	県内北勢地区も石油化学コンビナートの製造部門が閉鎖されて以降、活気を失っている。海外企業の誘致も最近では停滞気味で新たな当地区での需要は期待できそうにない。組合員は自助努力を続けて頑張っている。	
電気機器	鳥羽	先の不安は拭えないが、現状の受発注量はコストの低さを除いては、回復している。	
輸送機器	鈴鹿	組合員各社や人材派遣業者が口を揃えて人手不足感を唱えている。今後の操業状況の向上、売上増加につながることを期待している。	
非製造業	小売業	青果	野菜:前半は、一部の作物を除いて入荷は回復しそうである。ただし、例年に比べ価格は高い。キャベツ・白菜は、順調に入荷。キュウリ・トマト・レタス・ジャガイモは高値。玉葱はお買い得である。年末の野菜は、昨年より白菜・キャベツ・大根・人参・ゴボウは高値。蓮根・里芋・小松菜・ホーレン草は例年並。果物:前半は、県内産和歌山県産みかんは昨年並。リンゴは、長野産のサンフジは入荷が遅れて高値。年末は、長野産干し柿は豊作でお買い得。イチゴは、昨年よりやや高い。みかんは県内産、和歌山県産ともに美味しく価格も昨年並み。
		自転車	12月も先月に続き、売上、収益とも同程度の減少となった。2017年モデルの通学車が全種類出そろい、それぞれのショップが地域に合った商品を展示し、早期予約セールを始めた店も出始めている。年々少子化が進み、昨年並の売上台数までいけるかとの声が聞こえてきている。20日よりパーツ価格の改定が各メーカーよりあり、その上昇した分だけ、ユーザーに上乗せするか現在検討中である。

非製造業	小売業	家電	12月は、歳末セールなどを個々の店で実施したが、来店・販売共に厳しい結果であり、前年販売量の確保が厳しい状況である。好調商品は、4Kと大画面テレビや省エネタイプで大容量の冷蔵庫、暖房代わりのエアコン・リフォームが好調である。また、師走であり、商品販売を伴わない、修理や点検などのお客様の困り事への対応が多い。年間を通じて、厳しい結果であると思われる。
		石油	12月に入り、景気が幾分上がってきたような動きがみられる中、燃料油販売数量については、前年比2%前後の増販であった。原油価格等の値上げ状況においては、収益面は中々改善出来ずに年を越した状況である。暖房用灯油の販売数量については、寒さの影響もあり、幾分、増販により収益が上がったが、全体としては、油外商品の販売が思うように展開できなかったことも一因している。
		スポーツ用品	いよいよインターハイ開催の前年となる。組合として当局より大会推進目的のブルゾンやポロシャツの注文が入っている。また、数量は多くないが、今後、各開催市町より、注文が入ることを期待している。又、開催市町に対して、開催の為に用具の発注があるか問い合わせている。
	商店街	熊野	歳末の朝市イベントは、25日開催という事もあり、トーンチャイム演奏などクリスマスを意識したイベントを併催し、開催した。また、1月予定の恒例イベント「さんま祭り」は、現在まで、さんま自体が水揚げされておらず、開催方法が今後検討される。
	サービス業	旅館	11月は、秋のシーズンの上にサミット効果も加わり、団体、個人共に出足は好調で、9月、10月、11月と各地とも順調に前年同月を越える客数を伸ばしてきたが、12月に入ると急に落ち込み、通年並の12月に戻ったようであった。また、「ふるさと納税」の影響と言われている伊勢海老の品薄、高騰も収益を圧迫した。
		警備	例年、年末の工事等は、20日過ぎに終了するが、年末のスーパー、イベント等の警備で売上が維持できた。
	建設業	内装工事業	今年の流れからか、12月は対前年比について、売上等減少傾向になった。このまま、今年度は、上下動が続いて、先が見えない業況である。
		水道工事業（四日市）	今月は、特に目立った動きは見られなかった。労務単価については、まだまだ上昇傾向が続いていると思われる。
	運輸業	トラック	燃料価格が値上がりしてきており、収益を圧迫している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	地域ブランドに対して、組合の定款の見直しが必要になってきている。また、相談お願い致します。
一般機器	四日市	新しいアメリカの大統領の動向が注目されている。ヨーロッパ、中東、更に中国、加えてロシア、そして我が国の外交手腕が問われる一年となる。
	伊勢	時間外労働や三六協定遵守に対する社会の目が厳しくなっているが、人の採用も難しく、製造業では、多能工化や仕事の平準化に様々なハードルがある。各社対応に苦労しているが、好事例等があれば、教えていただきたい。
小売業	スポーツ用品	前月も記入したが、少額随意契約制度の活用が出来ないかと考えている。何でもネット入札の為、真に買いたいと思っている教師、生徒に適した道具がいかない（同等品可）状態である。大きな金額のものはしかたないと思うが、10万円以下の品をネット入札にて買うことになっている。何とかならないものか。
サービス業	旅館	ふるさと納税の返礼品が地元産品の供給量、価格等に影響しないように配慮願いたい。